



令和 6 年 6 月 25 日

公開セミナー「LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか？2」 第三者の精子や卵子の提供を受けて行う生殖医療の現状 学校での「性の多様性」「ライフプラン」教育の実態

◆発表のポイント

- ・2024 年 7 月 6 日（土）、「LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか？2」を開催します。昨年の LGBT 理解増進法や同性婚訴訟など、「LGBTQ と法律」の議論に続き、2 回目です。
- ・2020 年に成立した「生殖補助医療民法特例法」、そして今後、「特定生殖補助医療に関する法律案（仮称）」が国会に提出される予定です。しかし、その内容に、LGBTQ 当事者の視点が含まれていないことが問題とされています。生殖医療の現場から、また、法律家の立場から議論します。
- ・LGBTQ の子どもがライフプランを考えるときに、差別を受けず、教育や就職の機会を奪われず、結婚し家族を持つことができるかは重要です。LGBTQ の子どもを含めたすべての子どもが「性の多様性」を適切に理解し、ライフプランを立てることができる学校教育を考えます。

公開セミナー「生と死の倫理」では、毎年、その時の社会的課題に着目し、倫理的側面から議論を続けてきました。2023 年は、6 月に LGBT 理解増進法が成立、10 月には最高裁が「性同一性障害特例法」の 4 号要件（生殖不能要件）を違憲と判断するなど、性の多様性をめぐって日本社会が大きな転換点を迎えた年となりました。しかし、依然として LGBTQ 当事者の就学、就労には不自由さを感じています。また、ライフプランを立てる上で重要である結婚し子どもを持ち家族を作ることに関しては、困難な点が多く残っています。

第三者の精子や卵子を用いた生殖医療により生まれた子どもの親を確定する法律である「生殖医療民法特例法」が 2020 年に成立しましたが、その対象については言及されていません。今後、国会提出が予測されている「特定生殖補助医療に関する法律案」では、第三者の精子や卵子の提供を受けることができるのは法的な夫婦に限定されることになっています。このため、多くの LGBTQ 当事者が公式に実施できなくなり、海外や水面下で実施されるようになる可能性が指摘されています。

第三者の配偶子を用いた生殖医療を実施している、はらメディカルクリニックの戸田さやか先生から、受診されている LGBTQ 当事者の声をお伝えするとともに、岡山大学学術研究院ヘルシステム統合科学学域の宍戸圭介教授からはこの法律案を法的に視点で読み解きます。

また、学校において、LGBTQ の子どもをふくむすべての子どもがライフプランを立てることができるための教育についても議論します。日本の教科書における「性の多様性」「家族形成」の記述についての課題は、亜細亜大学法学部の三浦朋子先生から、また、LGBTQ の子どもを含めたすべての子どもへの教材については、岡山大学学術研究院保健学域、岡山大学病院リプロダクションセンターの中塚幹也教授から紹介します。どなたでも、ご参加ください。



PRESS RELEASE

◆研究者からのひとこと

日本 GI（性別不合）学会理事長、トランスジェンダーに関連する法律と医療を考える会（プロジェクト TGD）の発起人代表として、性同一性障害当事者の戸籍の性別変更のための特例法の改正、性同一性障害のホルモン療法の保険適用、LGBTQ 当事者の家族形成などの課題解決に向かって活動中です。

Yahoo! ニュース個人オーサー・サイト「生殖とジェンダーの今」<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka>でも発信中。



中塚教授

<開催概要>

1. 名 称 公開セミナー
「LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか？2
生殖医療と教育
2. 日 時 2024 年 7 月 6 日（土）13：00～ 16：00
3. 場 所 岡山大学（鹿田キャンパス） Jホール
4. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。
5. 申 込 方 法 参加事前申し込みは不要。
6. 参 加 費 用 無料。無料駐車券あり。

■研究資金

本研究は、2024 年度 科学研究費補助金基盤研究（B）『LGBTQ 当事者の家族形成実現とライフプラン教育の社会実装への相互深化モデル形成』を受けて実施します。

■補足・用語説明

詳細は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

<お問い合わせ先>

岡山大学学術研究院保健学域 看護学
教授 中塚幹也
(電話番号) 086-235-6538 (FAX兼)
(メール) josan@okayama-u.ac.jp



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

第15回
since 2009

生と死の倫理セミナー

LGBTQの子どもはライフプランを立てられるのか？ 2

生殖医療と教育

2024年

7月6日(土)

13:00~16:00

岡山大学鹿田キャンパス

Jホール

事前申込不要
無料駐車券あり

プログラム

13:00~13:20 あいさつ

シンポジウム主旨

LGBTQ当事者の家族形成を取り巻く課題

岡山大学学術研究院保健学域 中塚幹也

特定生殖補助医療に関する法律案(仮称)

13:20~14:20(質疑10分を含む)

提供配偶子による生殖医療を求める人々に接して

はらメテikalクリニック 戸田さやか

特定生殖補助医療に関する法律案のたたき台を読み解く

岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学 穴戸圭介

性の多様性・ライフプラン教育

14:30~15:30(質疑10分を含む)

日本の教科書における「性の多様性」「家族形成」

亜細亜大学 法学部 三浦朋子

LGBTQの子どもへのライフプラン教育に向けて

岡山大学学術研究院保健学域 中塚幹也

15:30~16:00 総合討論

「生殖とジェンダーの今」Yahoo! ニュース
<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka>



プレコンセプションケア
「未来への選択肢」



トランスジェンダーに関連する
法律と医療を考える会
プロジェクトTGD
<http://pttgdjapan.main.jp/>



2024年度 科学研究費補助金基盤研究(B)
LGBTQ当事者の家族形成実現とライフプラン
教育の社会実装への相互深化モデル形成



「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax:086-235-6538

E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>